

## ■ 第29回 多摩川流域セミナー

「肌で感じる河口の魅力」～河口のすばらしさを肌で感じよう！～

主催：多摩川流域懇談会

人々の暮らしとともに流れ続けてきた多摩川。  
その河口は東京湾西岸では唯一の天然干潟であり、「日本の重要湿地500」に選定されています。  
希少かつ貴重な河口の魅力を感じてみませんか？

### ● 日時

… 平成20年9月13日(土) 9:30～14:35

主催：多摩川流域懇談会  
**第29回多摩川流域セミナー**  
「肌で感じる河口の魅力」  
～河口のすばらしさを肌で感じよう！～  
人々の暮らしとともに流れ続けてきた多摩川。  
その河口は東京湾西岸では唯一の天然干潟であり、「日本の重要湿地500」に選定されています。  
希少かつ貴重な河口の魅力を感じてみませんか？  
日時：平成20年9月13日(土) **【雨天決行！】**  
集合場所：京浜急行羽田線・東京モノレール「天空橋駅」集合  
参加料：200円(保険料等)  
※定員50名、先着順・定員になり次第締め切ります。  
**当日のプログラム**  
【9時】 現地集合  
【9時30分～10時】  
1 京浜急行駅～モノレール  
2 多摩川河口の歴史と現状  
3 日航機遭難者慰霊碑  
4 羽田大鳥居  
5 弁天橋  
6 羽田五十間鼻・水難者慰霊塔  
7 羽田水門・羽田の渡し跡  
8 大師橋  
9 大師河原干潟(11:30閉会)  
【11時】 大師河原にて  
お弁当(12:30～)  
お弁当は各自持参してください。  
【13時～14:30】 フリートーク  
コーディネーター・長島保(地域史研究家)、安元順(多摩川流域ネットワーク)  
【14:35】 閉会  
お問い合わせ先  
多摩川流域懇談会事務局 NPO法人多摩川エコミュージアム  
TEL.FAX.044-922-1025 <http://www.seseragikan.com> [npo@seseragikan.com](mailto:npo@seseragikan.com)

### ● プログラム

#### <午前部>

◇ 9:30 京浜急行羽田線・東京モノレール「天空橋駅」集合

◇ 10:00 「天空橋駅」(スタート) ⇒ 0km標示板 ⇒ 日航機遭難者慰霊碑 ⇒ 羽田大鳥居 ⇒ 弁天橋 ⇒ 羽田五十間鼻・水難者慰霊塔 ⇒ 羽田水門・羽田の渡し跡 ⇒ 大師橋 ⇒ 大師河原干潟館(ゴール)

※ 天空橋駅から大師河原干潟館へは徒歩での移動となります。

#### <午後部>

◇ 12:30 昼食(大師河原干潟館にて)

※ お弁当は各自で持参してください。

◇ 13:30 フリートーク

コーディネーター・長島保(地域史研究家)、安元順(多摩川流域ネットワーク)

◇ 14:35 閉会

### ● 問い合わせ先

… 多摩川流域懇談会事務局 NPO法人多摩川エコミュージアム

TEL.FAX.044-922-1025 <http://www.seseragikan.com> [npo@seseragikan.com](mailto:npo@seseragikan.com)

## ■ 第29回 多摩川流域セミナー 開催報告

「肌で感じる河口の魅力」～河口のすばらしさを肌で感じよう！～

主催：多摩川流域懇談会

2008年(平成20年)9月13日(土)、多摩川流域懇談会が主催する第29回多摩川流域セミナーを、東京都大田区の羽田地区を中心に開催いたしました。

『「肌で感じる河口の魅力」～河口のすばらしさを肌で感じよう！～』と題し、羽田空港近くにある多摩川0.0km地点(多摩川の基点)から川崎市川崎区大師河原地区にある「大師河原干潟館」までを徒歩で巡り、河口干潟などの自然や周辺地区の歴史を感じながら多摩川河口域の“魅力”を再発見しようという主旨で行われました。



### 1. 天空橋駅集合

午前9時30分、京浜急行・天空橋駅付近の羽田の「大鳥居」前(多摩川左岸1.5km付近)の広場に集合しました。

参加者には今回巡る地点の資料と、暑さ対策の多摩川源流の水が配られました。当日は、残暑厳しい強い日差しが照りつけていました。



### 2. 開会のあいさつ

今回のセミナーは、総合司会の東京都建設局河川部の上村文昭さん、講師を多摩川流域ネットワーク(TBネット)の長島保さんのあいさつにより開会いたしました。長島さんに作成していただいた**配付資料**をもとに、河口域の概略を説明していただいた後、約1.5kmほど先にある、多摩川の基点「0km地点」をめざして出発しました。



### 3. 多摩川下流域の散策へ

多摩川左岸、大田区羽田地区の河口付近は、羽田空港が隣接しているため普段は訪れることはできませんが、今回は、許可を得て、多摩川の河岸に沿って歩きました。

途中、日航機墜落事故遭難者慰霊碑、東急ホテル跡地などをへて、0km地点をめざしました。





## 4. 多摩川0km地点

10時30分頃、うっかりすれば見逃してしまうほどの小さな「多摩川0km地点」に到着。その標識にはしっかりと「0.0K」と刻まれています。前回のセミナーにおいて多摩川最初の一滴である“水干”を見た参加者からは、「まさに源流から河口まで制覇した」という感激の声が聞かれました。



## 5. 羽田の大鳥居

0.0km地点から大師河原干潟館を目指し、再び出発地点である大鳥居に到着です。この大鳥居は、かつては鈴木新田にあった穴守稲荷の大鳥居でした。終戦直後、海老取川以東の住民全てに、占領軍から48時間以内の立ち退き命令がだされたため、穴守稲荷も現在の羽田六丁目に移転しました。しかし、大鳥居だけは元の位置に残されました。それは、動かすと「たたり」があるなどの風聞もながされていたためだそうです。その後、平成11(1999)年に、うわさされた「たたり」もなく、今の位置に移されました。大鳥居には「平和」の額がかかげられています。



## 6. 海老取川と五十間鼻

大鳥居から海老取川に架かる「辨天橋」を渡って、海老取川が多摩川に合流する地点に向かいます。ここは、「五十間鼻」と呼ばれている所があります。多摩川の河口に、鼻のように突き出ていることから、こう呼ばれているそうです。この「五十間鼻」は、多摩川の洪水が海老取川に逆流しないようにとの、昔からある洪水防御のための工夫です。この五十間鼻には、関東大震災のときに多くの被災者の遺体がここに流れ着き、その人々の供養のために供養塔が建てられています。この辺りから見る初日の出はたいへんすばらしく、毎年数百人が訪れるなど、隠れた名所になっています。



## 7. 赤レンガの旧堤防

多摩川沿いを上流に向かい、大師橋を渡ります。  
大師橋までの途中の堤防あたりで見えているのが、多摩川の旧堤防である赤レンガ堤です。大正7(1918)年から行われた多摩川下流改修工事により、昭和3(1928)年から防潮堤として築造されました。いまでも赤い趣のある堤防は、町中の風景として残っています。



## 8. 大師橋を渡って、大師河原干潟館へ

新しい大師橋は、東京大師横浜線(産業道路)が多摩川に架かっている橋です。名前の由来は、近くにある川崎大師からつけられました。工事は、平成3(1991)年から開始され、平成19(2007)年に全線開通になっています。橋からは、多摩川河口の雄大な様子がよく見えました。この橋を川崎側に渡ると、大師河原干潟館はすぐそこです。予定時刻の12時30分までには全員干潟館に到着しました。



干潟館で昼食をすませた後、2階にある会議室において本日巡った多摩川河口域の感想を話し合うフリートークが行われました。コーディネーターは、多摩川流域ネットワーク(TBネット)の安元順さんと長島



保さん、京浜河川事務所の柳澤河川環境課長です。



## 1. フリートーク

参加者のみなさんには、お昼休みを利用して、質問・意見・提案カードに記入をお願いしていました。参加者のほとんどの方にご協力いただけ、その内容を紹介しつつ安元順さんが撮影していたビデオを上映しながらフリートークが進められました。

下記にいただいたご意見から、何点かを紹介します。



- 0.0kを見ることが出来て良かった。多摩川は広くて思ったよりきれいで

した。ただ歩いているだけではなく、説明付だったので、すごく勉強したように感じます。ありがとうございます。

- これで多摩川を0.0k地点から水干まで行った事になります。現在の多摩川をあと何年保てるかと思うとさみしくなります。出来るだけ今を保つよう、皆様の努力をお願いします。
- 大変貴重な体験をすることができました。多摩川0k標示より海へはあと2kあることなど大変勉強になりました。歩いていて思ったことは、ゴミ(タイヤなど粗大ゴミ)が意外と多いのにびっくりしました。もう少しきれいになっていると良いと思いました。
- 「0.0K」の標識をもう少しわかりやすくしてほしい。
- 0km付近は、干潟などの雄大な自然が味わえる場所なので、遊歩道をつくってはどうか。

## 2. 閉会のことば

最後に、京浜河川事務所 事務所長の鈴木より、今回のセミナーのように市民の方と河川管理者がともに現地を歩くことは、とても意味があるし、そういった行動を通じてたくさんの意見をいただくことは、河川管理者の元気にもつながる、と閉会のあいさつがあり、第29回多摩川流域セミナーは幕を閉じました。

